

報告事項

県内文化財建造物の国新規登録について

県内文化財建造物の国新規登録について、別紙とおり報告します。

平成21年3月20日

鳥取県教育委員会教育長 中永 廣樹

県内文化財建造物の国新規登録について

文 化 財 課

平成21年3月19日(木)に国の文化審議会(会長 ^{にしはら}西原 ^{すずこ}鈴子)において、下記の文化財を国登録有形文化財に登録する旨の答申が行われました。

記

登録が答申された県内建造物13件

名 称	所在地	特 徴 等	建設年代
1 坂口家住宅主屋	米子市	町家に典型的な奥行の長い短冊型の敷地を持ち、敷地の周囲に建物を建てて、中央に庭を配したつくりとなっている。明治に坂口本家から分家した。 複雑な構造の屋根を持つ主屋は町家の外観を呈しているが、屋内に通り土間ではなく畳廊下を持つなど、伝統的な町家にはみられない間取をみせる。 大正に増築された離れ、主屋と連続して設けられた門及び塀、地下室を持つ土間倉のほか、背面を流れる旧加茂川沿いに配置された土蔵があわせて登録される。	明治25年 (大正期、昭和前期改修)
2 坂口家住宅離れ及び渡廊下			大正15年
3 坂口家住宅土間倉			明治25年
4 坂口家住宅土蔵			明治29年
5 坂口家住宅門及び塀			大正後期
6 石賀本店土蔵	米子市	昭和40年代に埋め立てられた米子城の旧外堀に面していた土蔵造2階建の土蔵。北面に庇を通し、赤瓦を葺く。内部は4室に分かれており、東寄りに、石段付きの通路を設けている。旧外堀沿いの面影を留めている。	明治24年
7 ^{みかも} 美甘家住宅主屋	大山町	木造平屋建、棧瓦葺の主屋は、北に土間、南に2列の部屋を配し、前列に座敷、仏間を設ける。棟には来待石をのせ、当地方の特色を示す。 主屋の他、逆向きの左棧瓦を葺く表門、マヤをコの字型に配し、中2階を設けてまぐさを貯蔵した旧厩や、南面に軒を深く葺き降ろした倉庫のほか、新蔵、宝蔵、中門及び土塀など、広大な敷地に配された付属屋6棟もあわせて登録される。	江戸後期 (明治前期増築)
8 美甘家住宅宝蔵			明治22年
9 美甘家住宅新蔵			文久元年 (1861)
10 美甘家住宅旧厩			明治前期
11 美甘家住宅倉庫			明治前期
12 美甘家住宅表門			明治前期
13 美甘家住宅中門及び土塀			明治前期

【参考1：登録が答申された建造物の写真】



坂口家主屋、表門及び塀



石賀本店土蔵



美甘家住宅主屋

【参考2：鳥取県の国登録文化財、国・県指定文化財件数(今回登録含む)】

国登録文化財	国指定文化財	県指定文化財
(142)	(15)	(18)
143	113	231
うち米子市 (11)	(1)	(1)
11	11	10
うち大山町 (33)	(3)	(1)
33	11	5

()内は建造物の数